

鶴岡ロータリークラブ会報

812

1975-7-15 No.3

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30~1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235(22)5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

- ◆ 点 鐘
- ◆ ロータリーソング (それこそロータリー)
- ◆ ビジターゲスト紹介
 ゲスト 今間製作所 取締役 技術部長 今間 金雄氏
- ◆ 会長報告
- ◆ 幹事報告 他クラブ例会変更等
- ◆ 委員会報告
 インターアクト委員会 — 安藤 定助
 ロータリー財団委員会 — 上野 三郎
- ◆ 台湾の農業事情について — 今間 金雄氏
- ◆ 出席報告 — 小松出席委員長
- ◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

会長報告

佐藤 忠

- ② 2、3日前の新聞に「小さな親切」運動のことが載っていました。百万会員の親切をする気持、それを受ける気持、その輪が広まった時に、本当の人間としての心の豊かさと、美しい社会が生れるような感じがしました。そして「人間に威信」が存在するような気がしました。
1. 本年度第1回クラブ協議会（7月1日開催）では各委員長の熱心な研究討議があり年間活動計画ができました。（今月中に印刷の上会員に配布予定）各委員長さん、ありがとうございます。計画の高度な実践を期待致します。
 2. 高専、西高、工業各インターアクトクラブ合同の湯野浜海水浴場清掃奉仕活動（7月13日）に私も激励に参りましたが、約2時間、ボーイスカウト隊員の協力もあって大変一生懸命でした。安藤委員長、五十嵐伊市郎君ご苦勞様でした。
 3. 交換学生パーバラさんは愈々今月27日帰国されます。国際奉仕委員会主催の送別パーティーが25日開催されますが、会員、家族多数の参加をお願いします。

委員会報告

委員長 安藤 定助
インターアクト委員会

① インターアクトクラブ合同社会奉仕 （湯野浜海浜清掃）

去る7月13日（日）連日の梅雨空もからりと晴れて、海浜に涼風そよぐ絶好の奉仕日和。鶴岡高専（13名）鶴岡工業高校（11名）鶴岡西高校（9名）各インターアクトクラブ合同の湯野浜海水浴場シーズンインの海浜清掃奉仕が実施された。

当クラブ佐藤会長、安藤IC委員長を始め鶴岡西RC会員多数の共働のもとに、地元観光協会、地元ボーイスカウト隊の応援を得て主にテトラポット附近のビニール、空缶、空ビン等の清掃を行い、先にビーチクリーナーで清掃された砂浜と共に見事に清掃された海浜一帯を云い知れぬ満足感にひたり乍ら眺め、鶴屋旅館（鶴岡RC会員）竹屋旅館、松田製麺所（鶴岡西RC会員）観光協会等夫々

の好意により入浴、昼食、茶菓をいただき乍らクラブ相互の親睦を深め奉仕を終った。

② 鶴岡工業高校インターアクトクラブ主催 特別会員ミス・バーバラ・クレーマー送別会

本日（7月15日）午後1時より、同校視聴覚室に於て同インターアクトクラブの上記送別会が開催されます。多数御参加下さい。

③ 鶴岡高専インターアクトクラブ 夏季休暇のため休会

同校は明7月16日より8月27日迄夏季休暇に入りますので、インターアクトクラブの例会も同期間休会になります。

④ 国際ロータリー第353区 第10回インターアクトクラブ年次大会案内

期 日 7月25日（金）～ 27日（月）

場 所 福島県飯坂温泉 婦人会館

当クラブのインターアクトは次の通り参加いたします。会員多数の御参加をお願いします。参加のための行動時間、宿泊等は安藤委員長に御照会下さい。

（TEL 23-2593（自宅） 33-3221（会社））

委員会報告

委員長 上野 三郎
ロータリー財団委員会

最初に、大変喜ばしいことを2つご報告申し上げます。

1つは、今年4月末の集計で、当クラブが「1,600%財団クラブ」と認められた証書が財団管理委員会から到着したこと。

もう1つは、去る7月1日に佐藤衛会員から「ポール・ハリスフェロー、準フェロー」の申し出であったことです。年度の初日からこういう申し出を頂いて委員会としては甚だ意を強くしている次第であり、これに続いて続々フェローの申し出があるよう期待いたします。

この機会に、新しい会員の方々のために「1,600%財団クラブ」と「ポール・ハリス・フェロー、準フェロー」について説明させて頂きます。

私達は、種々な形でロータリー財団に寄附をしているが、これらは、すべてイリノイ州エバンストンにあるロータリー財団管理委員会に送金されます。

その寄附累計額がクラブの会員1人当たり10

ドルに達すると、そのクラブは「100%財団クラブ」と認められ、20ドルに達すれば「200%財団クラブ」となります。この場合、会員数は月々増減があるので、前年度の12月最終例会日現在の会員数を基準にすることになっています。

ガバナー月信 No.13に掲載されている昭和50年4月30日現在の地区内各クラブの財団寄附額一覧表によると当クラブのこれまでの寄附累計額は10,678ドル(約3,100千円)であり又、昭和48年12月最終例会日、現在の会員数が66名となっております。ですから1人当たり10ドルでクラブ全体としては、66名×10ドル=660ドルで100%となります。

累計額 10,679ドルは660ドルの16倍強に当たります。つまり1,600%財団ということになります。

因に、この表で地区内クラブの寄附率順位をみますと

| | | |
|----|---------|--------|
| 1位 | 相馬RC | 2,800% |
| 2位 | 鶴岡RC | 1,800% |
| 3位 | 飯坂RC | 1,400% |
| 4位 | 東根RC | 1,300% |
| 5位 | 会津若松西RC | 1,200% |
| 6位 | 会津若松RC | 1,100% |
| ク | 寒河江RC | 1,100% |
| ク | 酒田東RC | 1,100% |

となっております。又、近隣クラブは次の通りです。

| | |
|-------|--------|
| 鶴岡西RC | 1,000% |
| 温海RC | 800% |
| 遊佐RC | 700% |

次に「ポール・ハリス・フェロー」は、1ヶ年間に1,000ドル以上を財団に寄附した個人に与えられる称号で、当クラブでは現在、張 紹淵君、早坂源四郎君、齋藤栄作君、張 生妹さんの4名がこの榮譽をうけておられます。

「ポール・ハリス・準フェロー」は、何年かの間に1,000ドルの寄附をすることを承諾した個人が最初、最低100ドルを寄附したときに与えられるもので、満額の1,000ドルに達したときは、ポール・ハリス・フェローの称号が与えられます。当クラブでは現在

小花盛雄君、三井徹君、石黒慶之助君の3名がこの資格をもっておられ、それに今回の佐藤衛君が目下その手続き中です。

なお1年間に100ドル～500ドルを故人の追悼記念に寄附された個人に贈られる「メモリ

アル・コントリビューター」として、元会員の故三浦岩治郎氏、並びに故池内方平氏を追悼して寄附された張紹淵君がおられます。

こういう風にいろいろな形で寄附を集めるのは、ロータリー財団が次のような大変重要な又有益な国際的大事業をするのに沢山の金がいるからに他なりません。

ロータリー財団の目的は「博愛・慈善・教育的性質の確実で且つ効果的な企画によって各国の国民間の理解と友好関係を増進すること」と明記されております。

事業の内容は配付したパンフレットに詳しく書いてある通りですが、大学院課程奨学金、大学課程奨学金、専門的訓練補助金、心身障害者教師奨学金を内容とする、教育補助事業、そして、研究グループ交換事業更に特別補助事業があります。

教育補助事業では、有能で前途有為の青年男女が財団の費用で1年間外国で勉学する機会が与えられます。毎年700名以上の青年男女に補助金が与えられ、創立以来これまで約7,500名が財団のこれらプログラムに参加しております。当クラブの関係ではこれまで

1975～1976 菊地 敏君 大学院課程

1970～1971 石黒敏明君 大学課程

1972 本間利男君 研究グループ交換

の3君が参加しております。

最後に今年度の活動計画についてのご協力をお願いですが、一つは1976年9月の研究グループ交換派遣生の推せんをお願いです。25才～35才の男子で事業又は専門的職業に2年以上の経験があり、自分の職業についての熱意と知識を充分もっていて人物のしっかりした且つ英語の出来ることが資格であります。従業員などに心当たりの方がおりましたら是非ご相談願います。

もう一つのお願いは、財団寄附について、今年度は毎月1回任意の例会日を「財団協力の日」として、この日は、財団ボックスに1人500円程度の寄附をお願いすることにしたいと思いますので何分とも財団の意義をご理解されて、ご協力の程をよろしく願いいたします。山形での地区協議会では、募金のアイデアについていろいろきいて参りましたが当委員会では、準フェロー申出での奨励の他は、この「財団協力の日」一本でやってゆきたいと存じますのでご協力を重ねてお願い申し上げます。

プログラム委員会 新穂光一郎君紹介

台湾の農業事情 今間製作所 取締役
技術部長 今間金雄

今回私が台湾に参りましたのは、私共の方で、コンバインをほしいという話がありまして、日本で使っているその儘の形でコンバインを使用できるものか疑問でもありましたので、現地でテストさせて貰ってそれでよかったら買って貰うという事になり出かけた訳です。

6月初旬から稲刈りが始まるとの事で6月8日に現地に入りましたが、台湾は入梅時期でして誠にイライラしながら雨の上のを待ったのですが、幸い向うで端午の節句が過ぎますと、雨も上り連日テストを繰返して参りました。

私共は台湾の稲は日本のものとどの様に異なるのか、大体の予想はして参ったのですが、日本と同じ様なタカサゴ米というのと、台湾の従来品種であるインデカ品種ジャポニカ品種というのでは大分違うという事になり、にわかにも雨期に機械を手直した訳であります。いざ機械を荷動させましたら、誠に順調でして、予想以上に向うさんから気に入られ、商談も目度良く整い、先日35台の発注を受けた訳であります。

今回コンバインの試験をした所は、台中の近くのインリンという所で、ここで云えば大山の倍位の町でございます。ここは野菜の集散地でございますが、まれにしか日本人がこないという事として、我々の見た所でも、土地の年長者や、商店の主人が日本語を話す位のものでした。どうしてインリンという所を選んだかといいますが、そのあたりは台湾でも穀倉地帯でして農家1戸当り4町歩から5町歩位耕作して居り、1日大体1町歩刈取り脱穀しなければならんという事でした。

それではこれまでどの様にしていたかと云いますと、農家毎に20人位の季節農夫が集まっています、刈る人、結束する人、脱穀する人が分業で、1日5回、仕事前10時、12時、3時、6時に食事をさ一日300円の賃金ですが、台中とか台慶、高雄といった所に人が集まり

まして日本と同じ様にやはり都市化の傾向があります。特に若い人は、仲々集まらないという状況にあります。農夫1日300円というのは高い方で、普通のサラリーマンは80円から100円位です。

処で1町歩を1日20人と云いますと計6千円です。6千円の外に1日5回食事をさせるとなると、相当の経費負担になります。それでコンバインの導入という事になったのだと思います。コンバインでやりますと1日4,500円の賃借料としまして、食事代を入れてもかなり経費が助かります。我々は初め日本でも最も進んだコンバインをどうして使うのかという疑問があったのですが、買入人の状態を見ますと、コンバインは日本より倍近い金額(約200万円)ですが、2年位で元をとるんだという事でした。1年で日本の5年間分位の仕事をしますから2年で40町歩から50町歩やるという事になります。

御存知の様に、台湾では普通2毛作でございまして、南の台南とか高雄の方にいきますと3回とれます。南の方から北の方に上って来るのに40日間仕事が出来たのです。だから高いコンバインを買っても充分にあう事になります。

その様に機械を酷使することになりますと機械の耐久性能も充分考えなければならぬし、それにもう一つはアフターケアの問題、色々のサービスクと事後処理の問題をどうするかという事です。

近い処に修理の出来る工場はないか物色して参りましたが、自動車修理工場といっても日本で云えば、主人1人でやっている自転車屋さんの様な所でございまして、吾々の必要な溶接機とか旋盤の一台もある工場となりますと、何かちょっとした物を作って居ります。今回取りさせて載いた貿易商社というのは農機具に関してはずぶの素人で、日本に木彫りとか掛軸、象牙細工等を輸出している会社でしたが、新たに農機具の判る人を集めました、会社を作るのだという事で、仲々やる気充分でして、私共としてもこれならイケルと考えて参った訳です。

とりとめがなくりましたが、後は質問でおきなわせて載きたいと思ひます。

(字数の関係で質問は省略しました)

出席報告

| | | | |
|-------|-------|--------|---|
| 本日の出席 | 会員数 | 70名 | 欠席者 |
| | 出席数 | 53名 | 阿宗君、阿部(襄)君、石井君、市川君、風間君、小池君、嶺岸君、三井(徹)君、齋藤(信)君、佐藤(正)君、佐々木君、高橋(正)君、佐藤(宇)君、谷口君、富樫君、藪田君、菅原(辰)君 |
| | 出席率 | 75.71% | |
| 前回の出席 | 前回出席率 | 74.29% | マークアップ |
| | 修正出席数 | 62名 | 藪田君一新潟RC、笹原君一東京日本橋RC |
| | 確定出席率 | 88.57% | 阿部(公)君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、板垣君、今野君、嶺岸君、佐藤(忠)君、高橋(良)君一鶴岡西RC |